自衛消防訓練実施計画届出書の記載例

様式第５号

自衛消防訓練実施計画届出書

年　月　日

（あて先）宝塚市　消防署長

防火管理者

氏　名

防火対象物	所在地				
	名称		業態		令別表第１項別
訓練実施日時	年　月　日（　）　時　分から　時　分まで				
訓練種別	１　部分訓練　○消火　○通報　○避難　２　総合訓練　３　合同訓練				
参加人員	人　担当者　電話（　）　番				
消防職員の派遣	消防職員	要・否	消防車両	要・否	消防車両の種別　・ポンプ車　・梯子車　・救急車
訓練概要					
◎受付欄	◎経過欄				

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　◎印の欄は記入しないこと。
３　訓練の種別及び消防職員等の派遣の要否欄については、該当するものを○で囲むこと。
４　訓練概要に実施内容が記載しきれない場合には、別紙とすること。

消防署に届出した日を記載してください。

防火管理者の氏名、建物の所在地、名称、業態（飲食店、事務所等）、令別表第１の項別を記載する。業態と令別表第１の項別が分からなければ空欄とし、消防署で確認してください。

「部分訓練」･･･消火・通報・避難の訓練のうち、どれか１つのみ又は、２つのみ実施の場合
「総合訓練」･･･消火・通報・避難、全て実施の場合
「合同訓練」･･･消防隊と合同で実施する場合。ただし、通常の派遣依頼では、「合同訓練」にはなりません。

参加人数と、訓練担当者名、訓練担当者と連絡が付く番号を記載してください。

消防職員の派遣が必要な場合は、要に○印、不要な場合は、否に○印を記載してください。消防車両も同様です。
派遣が必要な場合は、予約が必要です。（すでに他の予定が入っている場合は、お受けできないこともあります。）

訓練の大まかな概要を記載してください。書ききれない場合は、別紙を用意して記載してください。

※　自衛消防訓練実施結果報告書は、計画書を参考に記入してください。

自衛消防訓練実施計画届出書と自衛消防訓練実施結果報告書は、それぞれ２部ずつ届け出てください。
自衛消防訓練実施計画届出書は、訓練実施前までに届け出てください。自衛消防訓練実施結果報告書は、訓練終了後、速やかに届け出てください。

お客様と従業員の命を守るために、居住者の安全を確保するために、

自衛消防訓練を実施しましょう！

火災という異常事態の中で迅速かつ的確な行動をとることができるようにするためには、火災発生時にとるべき一連の行動（消火、避難、通報）を繰り返して訓練し、身体に覚えさせておくことが大切です。

訓練の実施は、オーナーなど管理権原者に対する義務として消防法で定められています。

また、防火管理者の責務の１つにもなっており、罰則等についても、１年以下の懲役又は１００万円以下の罰金に処せられます。

疑問１　どんな訓練を年に何回行えばいいの？

答え　飲食店や物販店等（特定防火対象物）で防火管理者を定めなければならない対象物では、消火と避難の訓練を年２回以上行わなければなりません。（通報訓練については、年１回以上実施してください。）

マンションや事務所等（非特定防火対象物）では、消火・通報・避難の訓練を年１回以上行わなければなりません。

疑問２　忙しくて訓練の時間がとれないのですが・・・

答え　訓練を難しく考える必要はありません。

例えば、朝のミーティングなどの時間を利用し、防火管理者が中心となって、消火器の使い方や設置場所の確認を行う等、短時間でも効果的な訓練を考えましょう。

訓練方法は、裏ページを参考にしてください。